



ほごしゃ みな 保護者の皆さまとともに

こうちょう あらい まさふみ
校長 荒井 正史

つつじの花が街路を彩るようになりました。左近山のまちは草花がとてもきれいで、春の風を一層心地よく感じるができます。新しい学年が始まり、約2週間が経ちました。教室をまわると、子どもたちから「がんばるぞ」という意欲を感じます。私は昨年度着任をいたしましたので、それぞれ一つ学年があがった子どもたちの様子を見て、成長を実感し、嬉しく頼もしく感じています。

一年生も、よくがんばっています。小学校では、国語や算数などの学習だけでなく、毎日の登下校、朝の会や帰りの会、そして給食の準備や片付け、係活動や掃除などなど、小学校生活のなかで学ばなければならないことがたくさんあります。そのなかでも一生懸命、取り組んでいる一年生の姿をみると、とても感心します。

新しいクラス新しい環境のなかで、それぞれがんばっている子どもたちですので、疲れて帰ってくることもあるかと思えます。心地よい季節ではありますが、朝晩の気温の変化などによって体調を崩すこともあるかもしれません。保護者の皆さまには、いつも以上に子どもたちの様子を見ていただき、無理をさせないようにしてほしいと思えます。

さて、4月13日(月)から給食が始まりました。給食では、子どもたちが白衣に着替え、食缶や食器を運び、ご飯やおかずなどを盛り付け、それぞれの机にトレイを運びます。給食を食べ終われば、それぞれの食器や箸を食器かごのなかに並べて入れ、給食室に運びます。もちろん経験を積み、できるようになりますが、一年生ではなかなかの至難の業です。担任ひとりでは、なかなか手がまわりません。そこで今年度から、1年生の保護者の皆さまに給食の準備や後片付けのお手伝いをお願いしたところ、たくさんの保護者の方々の協力を得ることができました。初日である13日(月)は、6名の保護者の方にご来校いただき、子どもたちの支援をしていただきました。子どもたちも多くの保護者の皆さまが見守ってくださっているなか、上手に給食の準備や後片付けを行うことができ、初めての給食をおいしく食べることができました。

左近山小学校は、保護者の皆さまが日頃から本当に協力的であたたかく、子どもたちの成長を支えてくださっていると感じています。いつもありがとうございます。給食のお手伝いに来てくださった方々に、子どもたちから「〇〇さんのお母さん」と言って近づき、親しげに話をしている様子がみられました。本校では保護者の方々から子どもたちにあたたかく声をかけてくれる光景もよくみかけます。こうした様子から左近山小学校の保護者の皆さまは、左近山小学校の子どもたちのことを可愛がって接してくださっていることが伝わってきます。そのような保護者の皆さまとともに、子どもたちを育てることができるとともに嬉しく思います。これからも、保護者の皆さまのご理解ご協力を得ながら、子どもたちの成長をともに感じる学校にしていきたいと思えます。引き続き、よろしくお願いいたします。

【留守番電話設定】平日16時45分から翌朝8時15分までは留守番電話を設定しています。